

I 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

中国史には、歴代王朝が記録した戸口統計が伝わる。戸は生計を同じくする家、口は人口である。史書に記された数字から各統一王朝の戸口最大時の概数を見ると、以下のようになる。

(単位：百万)

	前漢	後漢	隋	唐	北宋	元	明	清 康熙	清 乾隆	清 道光
戸	12	10.7	8.9	8.9	21	13	11.4	—	—	—
口	60	56	46	53	47	60	67	26	208	400

(梁方仲編『中国歴代戸口・田地・田賦統計』上海人民出版社1980より概数を抽出)

これらの数字は、戸口の実数ではなく、王朝が把握し得た数であるが、これも地方官の過大報告などがあり確実とはいえない。実際の人口数は、研究者によって大きな開きがある。しかし、王朝政府の統計からでもいろいろなことが見えてくる。

前漢の数字は、その最盛期といわれる武帝の時代から約80年後のもので、この数年後に漢は一時中断するが、この時期にあっても帳簿上は十分な数を確保していたことになる。後漢の光武帝時は戸口ともに前漢の35%程度に落ち込んだが、2世紀に入るとほぼ回復した。隋の数字は煬帝のときのもので、唐の最盛期に比べても遜色ない。その大土木工事や対外遠征は、こうした国力を背景にしたものであったのであろう。唐は玄宗天宝年間の数字だが、この5年後の肅宗乾元3年には戸190万、口1700万と激減する。北宋の数字は奇妙である。明までの歴代王朝の1戸あたりの人口がほぼ5人を前後するのに、一家が平均2人台前半、すなわち殆ど夫婦のみということになる。これは宋の人口は成年男子のみ数えたからという説が有力である。元は遊牧国家の形態で中国を統治したので、この数字をほかの王朝と同じ観点から分析することには無理があろう。戸数は江淮、四川で1140万とするから大部分がいわゆる南人となる。明の最高値は永楽元年で、靖難の役を経た直後になるが、統計人口は一代を通じ5000万と6000万の間を推移した。清は、61年間ある康熙年間には明清交替の混乱が十分収まらず、乾隆帝の時代に人口爆発ともいえる増大傾向を示している。このように、18世紀までの中国史上の統一王朝は、それぞれ5～6000万を最大とする人口数を記録するが、近年の人口史研究は、宋以降の実際の人口数を1億から2億人以上と推定して、中国独自の経済成長の有無の検討が課題となっている。

問A 下線部Aについて、この中断とは何を指すか。

1. 漢の外戚王莽が、赤眉の乱を起こして皇帝位を篡奪したこと。
2. 王莽が新を建てて、周を理想とする復古主義の政策を行ったこと。
3. 呉楚七国の乱が起こり、封建制国家が一時復活したこと。
4. 党錮の禁により、儒教理念に基づく政治が機能しなくなったこと。

問B 下線部Bについて、その理由として妥当なものはどれか。

1. 長安遷都によって渭水盆地の開発が進んだ。
2. 鮮卑の服属によって西北地域の政治状況が安定した。
3. 治水工事技術の発達によって黄河の氾濫がなくなった。
4. 山東地域や長江以南の開発が進んだ。

問C 下線部Cについて、誤った説明はどれか。

1. 安東都護府を置き、中国東北部・朝鮮経略の拠点とした。
2. 3回にわたる高句麗遠征は、すべて失敗した。
3. 江南河の開通によって、南北を結ぶ大運河が完成した。
4. 西域の東西交易路確保のため、吐谷渾討伐軍を送った。

問D 下線部Dについて、その原因は何か。

1. 武韋の禍による政治の混乱。
2. 兩税法施行による苛酷な徴税。
3. 安史の乱による華北の荒廃。
4. 黄巢の乱による華南の混乱。

問E 下線部Eについて、その妥当な理由はどれか。

1. 行政末端の業務を行わせるために成年男子のみ把握が必要であった。
2. 正規軍に徴兵するために成年男子のみの名簿が必要であった。
3. 田畑の還授を正確にするために成年男子のみの登録が必要であった。
4. 民間では宗族制を維持するために成年男子のみ重視されていた。

問F 下線部Fについて、誤った説明はどれか。

1. フビライはモンゴル帝国の大ハーンであり、元の初代皇帝でもあった。
2. 農耕社会を統治するために、カラコルムから中国内部の大都に首都を移した。
3. 中国統治に反発したバトゥは、独立してイランにイル＝ハン国を建てた。
4. モンゴルでは、金を減ぼしたことによって農耕社会の本格的統治が始まった。

問G 下線部Gについて、正しい説明はどれか。

1. 旧南宋領の人々は、南人として大元ウルスの最下層に置かれて賤民扱いされた。
2. 科挙復活後も、南人には合格枠が与えられず、官僚への道は閉ざされていた。
3. 江南の知識人対策として、南人のなかから特別に抜擢されモンゴルに仕える者も出た。
4. 元曲の代表作『西廂記』は、南人の王実甫が南宋の戯曲を継承して完成させた。

問H 下線部Hについて、誤った説明はどれか。

1. 洪武帝の子の燕王は、中央政府の諸王権力排除の方針に対抗して挙兵した。
2. 燕王は、弟の建文帝が居る首都南京を攻略して帝位につき自らを第2代皇帝とした。
3. 燕王は、即位すると自分の王府の所在地であった北平に紫禁城を築き遷都した。
4. 永楽帝の対外遠征は、この戦争での帝位篡奪者の汚名をそそぐ目的もあったとされる。

問I 下線部Iについて、人口把握の基礎となる賦役黄冊の作成を命じた皇帝は誰か。

1. 洪武帝
2. 永楽帝
3. 万暦帝
4. 崇禎帝

問J 下線部Jについて、鎮圧によって混乱が収まる指標となった事件はどれか。

1. 李自成の乱
2. 回教徒の反乱
3. 白蓮教徒の乱
4. 三藩の乱

問K 下線部Kについて、関連する説明として誤っているものはどれか。

1. 地丁銀制の実施が丁男の増加を後押しした。
2. 新大陸からの作物が食糧事情を好転させた。
3. 移民による満州や珠江デルタの開発が進んだ。
4. 宣教師のもつ科学技術が工業の生産性を向上させた。

問L 下線部Lについて、関連する説明として適切なものはどれか。

1. 前近代の中国王朝の時代は、2000年の停滞した社会であった。
2. 有り余る労働力を田土に投入することで農業生産力は上昇した。
3. 大航海時代の始まりとともに16世紀の中国は西欧の搾取に苦しんだ。
4. 明末清初の江南で発展した資本主義は帝国主義列強の進出で挫折した。

II 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

国家同士が連合し、新たな国家を建設するという事はヨーロッパではしばしば見られる現象であり、またその連合が解消されることもまれではない。その一例をわれわれは東ヨーロッパに見ることができる。ポーランド人は、966年にキリスト教に改宗するとともに、^A10世紀頃建国し、14世紀前半に即位した **B** 大王のもとで隆盛を極めた。しかし^Cドイツ騎士団の軍事的脅威が増すと、14世紀末リトアニアとポーランドが合同して **D** 朝が成立した。リトアニア＝ポーランド王国は1410年にドイツ騎士団を撃破し、1569年には両国の王位、議会、外交、通貨の統一が実現し、バルト海から黒海にいたる広大な領土を支配することになる。しかし、17世紀には衰退が進み、18世紀における^E三度のポーランド分割を経てポーランドは独立国家としては^F第一次世界大戦後まで姿を消す。

国家連合としてより有名なのはイギリスであろう。正式国名である「連合王国」という呼称自体が、国家連合的な性格をよく示している。16世紀にいたってもイングランド、スコットランド両王国は君主を異にする別の国家であった。しかし、1603年スチュアート朝イングランド王^Gジェームズ1世（スコットランド王としては6世）のとき同君連合が成立する。さらに^Hイギリス革命（ピューリタン革命）の進行の中、^Iオリヴァー＝クロムウェルはアイルランドなどをも包含する統一国家を建国したかに見えたが、1660年の王政復古後、両王国は再び同君連合の状態に復した。1688-89年の名誉革命後も同君連合の状態が続いたが、1707年両国は完全な連合に至った。そして^J18～19世紀初め、イングランド、スコットランドは共同で対フランス戦争を行っている。しかし合同後も^Kスコットランドは、独自の文化を維持し続けた。しかし20世紀の^Lアイルランド共和国独立は、スコットランド人の民族意識を高揚させることになる。そして第二次世界大戦後、スコットランドでは再び政治的な独立を求める声が強まり、2014年に独立をめぐる住民投票が実施されたが、激戦の上否決された。

問A 下線部Aに関連して、10世紀ヨーロッパに起こった出来事はどれか。

1. クヌートがイングランドを支配した。
2. レヒフェルトの戦いが起こった。
3. 両シチリア王国が成立した。
4. メルセン条約が締結された。

問B **B** に当てはまる人物はどれか。

1. カジミエシュ（カシミール）
2. ウワディスワフ
3. ミエシコ
4. スタニスワフ

問C 下線部Cに関して、ドイツ騎士団について誤った説明はどれか。

1. プロイセン（プロシア）はドイツ騎士団領をもとに建設された。
2. バルト海沿岸への東方植民を実施した。
3. 第三回十字軍のときアッコで組織された。
4. フランス王フィリップ4世により廃絶された。

問D **D** に当てはまる語はどれか。

1. ピアスト
2. アールパード
3. プシェミスル
4. ヤゲウォ（ヤゲロー）

問E 下線部Eに関してポーランド分割に関わった君主はどれか。

1. ピョートル1世
2. アレクサンドル1世
3. マリア＝テレジア
4. フランツ1世

問F 下線部Fに関して、第一次大戦後ポーランドの独立を認めた条約はどれか。

1. サン＝ジェルマン条約
2. ヌイイ条約
3. トリアノン条約
4. セーヴル条約

問G 下線部Gに関して、ジェームズ1世について誤った記述はどれか。

1. テューダー朝エリザベス1世のあとに王位に就いた。
2. カトリック復活を企て、ピューリタンの憤激を買った。
3. 少数の大商人への独占権付与は、市民の批判を招いた。
4. 王権神授説を唱えた。

問H 下線部Hに関して、イギリス革命（ピューリタン革命）の時代について誤った説明はどれか。

1. 国王チャールズ1世は、短期議会の裁判で死刑を宣告された。
2. アイルランドでは、大規模な土地収奪が行われた。
3. 議会会派の一つである水平派は、急進的な思想で知られる。
4. この革命の時期に、第一次イギリス＝オランダ戦争（英蘭戦争）が起こった。

問I 下線部Iに関して、オリヴァー＝クロムウェルについて誤った説明はどれか。

1. 独立派の将軍として活躍した。
2. 議会から長老派を追放した。
3. 統率のとれた鉄騎隊を組織した。
4. 航海法の廃止に尽力した。

問J 下線部Jに関して、18世紀から19世紀初めの英仏関係について、年代の古い順に2番目に当たるものはどれか。

1. フレンチ＝インディアン戦争
2. ジョージ王戦争
3. 第一回対仏大同盟へのイギリスの参加
4. アン女王戦争

問K 下線部Kに関して、18世紀のスコットランドを代表する学問や技術に当てはまらないものはどれか。

1. ヒュームによる懐疑主義的哲学の展開
2. スミスによる古典派経済学の創始
3. ワットによる蒸気機関の改良
4. ボイルによる気体力学の発展

問L 下線部Lに関して、アイルランドについて誤った説明はどれか。

1. 1850年代、保守党は一連のアイルランド土地法を制定し、小作人の権利保護に当たった。
2. 古代にはケルト人が居住していたと考えられる。
3. 聖パトリックは、アイルランドの守護聖人として有名である。
4. 1801年、アイルランドは合同法に基づきイギリスに併合された。

Ⅲ 次の文章を読み、問A～Lに答えよ。解答はマーク解答用紙の所定欄に一つだけマークせよ。

コロンブスが大西洋を横断した15世紀後半以降、アメリカ大陸にはヨーロッパ各国が進出した。その後、ラテンアメリカで銀が多く発見され、その銀が各地に流通したことにより、世界的な海上交易はより一層活発なものとなった。他方で、その銀がヨーロッパに大量に流入したことは、それら地域の物価を高騰させ、経済的混乱を招いた。

北アメリカでは、19世紀を通じてアメリカ合衆国が西に向けて進出した。とりわけ民主党から最初に大統領となったジャクソンの時代にそうした動きが活発になり、メキシコとの戦争後に獲得したカリフォルニアにおいて金鉱が発見されると、いわゆるゴールドラッシュが起こった。1869年には大陸横断鉄道が開通し、交通や通信網の整備が進められると、他の天然資源にも恵まれたアメリカは、工業国として大いに発展した。

20世紀に入って以降のアメリカでは、1929年の株価の大暴落に端を発する世界恐慌や2008年の大手金融機関の破綻に端を発するリーマンショックなど、ニューヨークが世界的な金融・経済危機の震源となったり、各地で移民に関する問題や人種差別問題が起きるなど、世界から資金や人々が集まってきたが故の負の側面も見られた。しかし、それでもニューヨークは引き続き金融や商業に関する世界の中心であり続け、また、第二次世界大戦後は、西海岸でもアップル、フェイスブック、マイクロソフト、グーグルなど、コンピューターやソフトウェア、情報産業に関わる世界的な企業が生まれてきている。世界からアメリカへの資金や人々の流れは当面滞りそうにない。

問A 下線部Aに関連して、コロンブスが大西洋を横断し、西まわりでアジアに向かおうとしたことに影響を与えたとされるトスカネリの出身地はどれか。

1. ローマ
2. フィレンツェ
3. パロス
4. バルセロナ

問B 下線部Bに関連して、スペインがアメリカ大陸とアジアとの間の交易のために開いた航路の組み合わせはどれか。

1. アカプルコ — マニラ
2. クスコ — カリカット
3. キト — アンボイナ
4. パナマ — バンコク

問C 下線部Cに関連して、そのことによって経済的な打撃を受けたアウクスブルクを本拠としていた一族はどれか。

1. ダイムラー家
2. メディチ家
3. ロスチャイルド家
4. フッガー家

問D 下線部Dに関連して、同党から選出された大統領ではない者はどれか。

1. バラク＝オバマ
2. ビル＝クリントン
3. ロナルド＝レーガン
4. フランクリン＝ローズヴェルト

問E 下線部Eに関する説明として誤っているものはどれか。

1. 先住民強制移住法（The Indian Removal Act）に基づき、インディアンたちをミシシッピ川以西に移住させた。
2. 大統領選挙に勝った党派に連邦政府の官職を与え、官職の交代を行うという、いわゆるスプイリズ＝システム（獵官制）を本格的に導入した。
3. 連邦政府の財政強化のため、アメリカ合衆国公認の銀行を設立することを目指した。
4. その大統領の時代に、男子普通選挙制が推し進められた。

問F 下線部Fに関連して、その後に州となったカリフォルニアに関する説明として誤っているものはどれか。

1. 1951年に日本と連合国との間で講和会議が開かれた。
2. 1945年に連合国側50カ国が参加した会議が開かれ、国際連合憲章が採択された。
3. 20世紀初頭、多くの映画撮影所が現在のハリウッドに設けられた。
4. 西洋音楽とアフリカ音楽を融合し、独特のリズム感に加えて即興性も加味されるようになったジャズが生まれ、同ジャンルの流行の発信地となった。

問G 下線部Gに関連して、とくに大陸横断鉄道の西側からの建設に従事していた移民の主な出身地はどれか。

1. アイルランド
2. 中国
3. イタリア
4. ポーランド

問H 下線部Hに関連して、ワシントンD.C.とボルティモアとの間に電信線を敷設し、同区間での通信の成功に尽力した者はどれか。

1. マルコーニ
2. ベル
3. エディソン
4. モース (モールス)

問I 下線部Iに関連して、石油王と言われたロックフェラーが市場の独占のために形成し、シャーマン法の適用の対象となったものはどれか。

1. トラスト
2. コンツェルン
3. カルテル
4. シンジケート

問J 下線部Jに関連して、世界恐慌とその後起こった出来事に関する説明として誤っているものはどれか。

1. フーヴァーは世界恐慌に対して政府が介入することに消極的であったが、農作物などに高率の関税をかけるスムート＝ホーリー関税法を制定し、各国の対アメリカ輸出を減少させた。
2. 世界恐慌の影響が波及したイギリスでは、1931年に金本位制を停止して管理通貨制度に移行した。
3. ローゼヴェルトは、大統領就任直後に銀行を救済し、その後、金本位制を停止して信用不安の一因となっていた金の流出を阻止するとともに、ロンドン世界経済会議において金本位制への復帰を拒否した。
4. フランスでは、1932年になって世界恐慌の影響が現れたことから、同年、金本位制を停止して管理通貨制度に移行した。

問K 下線部Kに関連して、1924年の移民法 (The Johnson-Reed Act) により、アメリカへの移民が全面的に認められなくなった国はどれか。

1. 日本
2. アイルランド
3. ドイツ
4. イギリス

問L 下線部Lに関連して、カリフォルニア州に本拠を置いていない企業はどれか。

1. アップル
2. フェイスブック
3. マイクロソフト
4. グーグル

Ⅳ 次の文章を読み、空欄 1 ～ 13 は、記述解答用紙の所定欄に適切な語句を記入せよ。下線部14は、その概略について100字以内で説明せよ。なお、句読点も1字と数える。

1993年11月1日、EUが発足した。欧州統合の構想を提起した思想家には、『永遠平和の構想』(1713-1716)を著したサン＝ピエールや、『永遠平和のために』(1795)を著した 1 等があるが、第一次大戦後、日本人を母にもつ 2 は大戦の傷跡を前に『汎ヨーロッパ』(1923)を出版して、平和的世界統一の前段階としての欧州統合を呼びかけ、多くの反響を呼んだ。

第二次大戦による荒廃と、冷戦による世界の分断が進むなか、欧州内の対立を解消して再興をはかろうとする動きが活発化する。1950年、フランス政府はジャン＝モネの起草による 3 を発表、独仏対立の火種を消すため、ルール地方とザール地方の石炭・鉄鋼産業を隣接諸国の管理下に置く 4 の設立を提案し、1952年に発足させた。5 はこれらの地方の資源が一元管理されると自国の産業政策で不利になることから結成に反対した。しかし、この共同体は成功を収め、1958年には 6 , 7 が創設された。さらに1967年にはこの3共同体が合併してECが誕生した。当初の加盟国は西ドイツ、フランス、イタリア、ベネルクス三国の6ヶ国だったが、その後新たに、アイルランド、イギリス、デンマーク、 8 , スペイン、ポルトガルが加盟し、1986年までに12ヶ国に拡大した。1970年代の世界的な経済危機によるEC停滞の時代を経て、統合の遅れに対する危機感から、欧州委員会は1985年¹⁴に、非関税障壁の撤廃と単一市場の完成に向けた行動計画を示した域内市場白書を発表した。この白書をもとに作成された 9 が1987年に発効し、1992年2月に、 10 , 共通安全保障政策、司法・内務分野の協力の3本柱からなるEUの創設を合意した 11 条約の調印に至った。

欧州統合による単一市場の成立は、世界経済に構造的変化をもたらした。アメリカは欧州経済が排他的ブロック化に向かうものと警戒し、1988年にカナダと自由貿易協定を締結し、1994年にはメキシコも加えて 12 を成立させた。アジア太平洋地域では1989年に 13 が発足した。アフリカでは、1963年に結成されたアフリカ統一機構が協力を強化し、2002年にEUをモデルとして、紛争の平和的解決や経済統合を目指すAUが結成された。

2012年、「EUが安定的に果たしてきた役割によってヨーロッパは戦争の大陸から平和の大陸に変わった」としてEUにノーベル平和賞が授与された。しかし、現実のEUは安定的な状態にあるわけではない。2009年のギリシア危機以降に先鋭化した財政問題やイギリスの離脱問題などは、この平和的統合の大いなる実験にどのような影を落としていくのだろうか。

[以下余白]